資料編

■第３次人吉市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定の経緯

開　催　日	内　容
平成 30 年 10 月９日～ 10 月 22 日	地域福祉に関するアンケート調査（住民対象）
令和元年　5月 10 日	第１回 第３次人吉市地域福祉計画策定作業部会
令和元年　6月 25 日	第２回 第３次人吉市地域福祉計画策定作業部会
令和元年　6月 27 日	第１回 第３次人吉市地域福祉計画推進委員会
令和元年　6月 27 日	第３次計画の策定について、人吉市地域福祉計画推進委員会へ諮問
令和元年　7月 29 日	第３回 第３次人吉市地域福祉計画策定作業部会
令和元年　7～11 月	校区別地域座談会（計 12 回）
令和元年　8月２８日	第１回 人吉市地域福祉推進会議
令和元年　9月 26 日	第４回 第３次人吉市地域福祉計画策定作業部会
令和元年　9月 30 日	第２回 人吉市地域福祉推進会議
令和元年 10 月　7日	第２回 第３次人吉市地域福祉計画推進委員会
令和元年 10 月 15 日～ 10 月 25 日	地域福祉に関するアンケート調査（専門職対象）
令和元年 10 月 30 日	第５回 第３次人吉市地域福祉計画策定作業部会
令和元年 11 月 21 日	第６回 第３次人吉市地域福祉計画策定作業部会
令和元年 12 月 18 日	第３回 第３次人吉市地域福祉計画推進委員会
令和元年 12 月 26 日～ 令和２年　1月 20 日	計画素案に対する意見募集（パブリックコメント）
令和２年　1月 23 日	政策審議会
令和２年　1月 28 日	第４回 第３次人吉市地域福祉計画推進委員会
令和２年　1月 31 日	第３次計画の策定について、市長へ答申
令和２年　2月　3日	行政経営会議
令和２年　2月　5日	地域福祉活動計画検討委員会
令和２年　2月２０日	人吉市社会福祉協議会理事会
令和２年　2月 25 日	市議会（計画書報告）
令和２年　2月２８日	人吉市社会福祉協議会評議員会
令和２年　3月	第３次人吉市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定・公表

■人吉市地域福祉計画推進委員会設置条例

平成 23 年６月 30 日
条例第 12 号
改正　平成 26 年３月 25 日条例第 15 号

（設置）
第１条　社会福祉法（昭和 26 年法律第 45 号）第 107 条の規定による人吉市地域福祉計画（以下「計画」という。）を策定し、全ての人が生きがいをもって、互いに力を出し合い、安心して豊かに暮らせる幸せいっぱいのまちづくりを推進するため、人吉市地域福祉計画推進委員会（以下「委員会」という。）を設置する。
（平 26 条例 15・一部改正）
（所掌事務）
第２条　委員会は、市長の諮問に応じ、計画の策定及び変更に関することについて審議し、市長に答申するものとする。
２　委員会は、計画の推進に関することについて、次に掲げる事項を審議する。
（1）　地域における福祉サービスの適切な利用の推進に関すること。
（2）　地域における社会福祉を目的とする事業の健全な発達に関すること。
（3）　地域福祉に関する活動への住民の参加の促進に関すること。
（4）　その他委員会の目的を達成するために必要な事項に関すること。
（平 26 条例 15・全改）
（組織）
第３条　委員会は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する委員 16 人以内をもって組織する。
（1）　地域関係団体の代表者
（2）　健康福祉関係団体の代表者
（3）　学識経験等を有するもののうち、市長が必要と認める者
２　委員の任期は、２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
（構成）
第４条　委員会に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。
２　会長は、会務を総理し、会議の議長となる。
３　副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。
（会議）
第５条　委員会は、会長が招集する。
２　委員会は、委員の２分の１以上が出席しなければ会議を開くことができない。
（庶務）
第６条　委員会の庶務は、健康福祉部福祉課において処理する。
（委任）
第７条　この条例に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、市長が別に定める。
附　則
（施行期日）
１　この条例は、公布の日から施行する。
（人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正）
２　人吉市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和 36 年人吉市条例第 18 号）の一部を次のように改正する。
〔次のよう〕略
附　則（平成 26 年条例第 15 号）
この条例は、平成 26 年４月１日から施行する。

■人吉市地域福祉計画推進委員会 委員名簿

	区分	所属団体・役職	氏名
1	地域関係団体	人吉市校区社協連絡協議会・会長	才尾　弘太郎 （会長）
2	学識経験者	司法書士	宮本　稔也
3	地域関係団体	人吉市町内会長嘱託員連合会・理事	原口　英一
4	地域関係団体	人吉市子ども会育成連絡協議会・会長	笹山　欣悟
5	地域関係団体	人吉市 PTA 連絡協議会・人吉市立第二中学校ＰＴＡ会長	松村　太
6	地域関係団体	人吉市校区公民館長連絡協議会・西瀬公民館館長	中村　雅孝 （副会長）
7	地域関係団体	人吉市消防団・第一方面隊長	中村　辰治
8	健康福祉関係団体	人吉市民生委員児童委員協議会・会長	大瀬　彦一
9	健康福祉関係団体	人吉市くらし見守り相談員連絡協議会・会長	松川　勲
10	健康福祉関係団体	人吉市ボランティア連絡協議会・理事	宮原　芳子
11	健康福祉関係団体	人吉市老人クラブ連合会・会長	三倉　重成
12	健康福祉関係団体	人吉市健康推進員会・理事	本村　令斗
13	健康福祉関係団体	球磨圏域介護支援専門員協会・事務局	町田　美治
14	健康福祉関係団体	人吉球磨障がい者総合支援協議会・相談支援専門員	工藤　稔弘
15	健康福祉関係団体	人吉市保育園連盟・園長研修部長	平山　猛

■人吉市地域福祉活動計画検討委員会 委員名簿

	区分	所属団体・役職	氏名
1	企画財政部会	企画財政部会　部会長	今村　朱美
2		企画財政部会　副部会長	川内　敏次
3		調査広報部会　部会長	尾方　治則
4		調査広報部会　副部会長	林　美穂子
5		児童福祉部会　部会長	長船　法文
6		児童福祉部会　副部会長	国武　美幸
7		地域福祉部会　部会長	中村　重男
8		地域福祉部会　副部会長	福浦　孝徳
9		企画財政部会　部員	金子　尚央
10	校区社会福祉協議会	東校区社会福祉協議会　会長	原口　英一
11		西校区社会福祉協議会　会長	中野　富美子
12		東間校区社会福祉協議会　会長	源嶋　正人
13		大畑校区社会福祉協議会　会長	今井　二郎
14		西瀬校区社会福祉協議会　会長	元田　國博
15		中原校区社会福祉協議会　会長	才尾　弘太郎

■地域福祉に関するアンケート調査（市民）自由記述欄

※自由記述の回答を抜粋し、課題別に掲載しています。

地域福祉の基盤づくりが必要	
1	両親共に他界していて縁がないのですが、老人施設とかでやっているデイサービスとかは健康に問題ない人とかは利用できないと聞いたことがあるのですが、町内で行われているサロンみたいなものを回数を増やすとか、例えば、子ども食堂が都会では常設しているところに老人も気軽に行けるような場所があったらいいなあと思います。（60 歳代女性）
2	私が住んでいる町内は人数が多いのにも関わらず、行事の参加者が少ない（子ども会の行事は特に）自分達の子どもが小・中学生の頃は活性化していて参加者も多く行事も一丸となり取り組めていた。実際、隣近所の子どもさん達がいる家庭は、殆ど行事に参加されておらず、この状況がそのまま進んでいくと、この先は更に近所付き合いも乏しくなっていくのではないかと思う。子ども会の充実、横のつながりが今後に大きな影響を与えると思っている。（40 歳代女性）
3	昔ながらの近所の付き合い方はできない世の中なので、新しい形の寄り合う場を作らなければいけないと思う。地域の施設を今よりも使いやすくしたり。（30 歳代男性）
4	高齢者が気軽に、気が向いた時にワクワクして遊べるような場所があれば嬉しいです。夢中で楽しめる所なんてないですよね！（70 歳代女性）
5	子ども食堂について本当に必要としてる家庭は、平日でしかも週３回は必要のような気がします。難しい事かもしれませんが、そうなるといいなと思います。（70 歳代女性）
6	異世代間交流ができるような機会（行事）等の提供があると、そこでの出会いが様々な場面で活かせると思う。市や社協からの今後の発信を大いに期待しています。よろしくお願いします。（40 歳代女性）
7	高齢者が高齢者を見ているこの現状、介護されてる方より介護してる方が安心して介護できるように、周りで助け合う、話し相手になってあげれば面倒を見る方達も少しは楽になると思う！近所で救急車が来ていても誰も外に出て来て見る、心配してやるということがなかったことにガッカリでした。日頃の近所付き合いがないのがこんな現状なのでしょうね！悲しくなります。（50 歳代女性）
8	５０歳以上の方は、コミュニケーション能力が高いと感じます。それに比べるとパソコン・スマホの普及により、インターネットであらゆる事が調べられるので、若い方のコミュニケーション能力は低下している現状です。（全ての方がそうではありませんが）人対人との付き合い方、交流は経験していかないと身に付いていきません。若い方からご年配の方まで気軽に足を運べるような「地区の祭り」などが町内で充実し、言葉を交わせる場が必要です。まずは、支え合える関係が築けるかがポイントになってくるのではないでしょうか。（40 歳代女性）
9	人吉以外から来られた方は、小学校・保育園などで知り合わなければ仲良くなる事がない。ましてや地域の方だったり、校区の方など交流が全くない。初めての事を詳しく教えてもらえず、とまどう方もたくさんいらっしゃると思います。そういう人材交流の場を設けてもらえると、人吉に来る不安がある人達は、少なくなるのではないでしょうか。（30 歳代男性）
10	公民館の利用がシニア世代がほとんどのようなので、若い人も興味を持っていけるような場、そのものを変えたり、サービスを附帯する。隣保班での集まりに過去あったように、補助をして集える場づくりをするべき。（60 歳代女性）

11	まず意識を持つという事だと思います。仕事をしている時は、なんでも頭の隅にしかなかった事が、年金生活、介護を必要となる今は、自分で意識をもって隣近・町内との繋がりをしっかり結ぶ事だと思います。わからないことは尋ね、わかることはアドバイスして支え合う事を心していけたらと思います。（60 歳代女性）
12	地域で色々と活動をしたい気持ちは充分にある。しかし、仕事でなかなか時間を生み出せていないので、退職してからはある程度できるのではないかと考えている。（50 歳代男性）
13	他県から引っ越して来ましたが、地域性を理解するのが難しく、支え合う間にはかなり時間が必要だと思います。（40 歳代女性）
14	何が起こるかわからない時代に入ったとはよく聞きますが、福祉行政もそれにそって行われることと思います。一にも二にも日常の地域活動にあると思っております。日常の挨拶、日常の付き合い、定期的な行事への参加、できるだけそのことに尽力して、自分の住む地域への愛着を深くしておくことです。そのことによって、万が一の時には助け合い、協力もできると思っております。言うは易く、実行は難しい事ですが、一人一人がその自覚をもっていれば、災害・不幸も最小に抑えることができると思っております。（60 歳代男性）
15	地区の活動をしている方の大変さを理解していない方が多すぎます。（70 歳代男性）
16	私は、人口が少ない町内に住んでいます。地域の方々と町内会の活動でお会いしますが、人が少ないため、限られた一部の方達が役員をずっと引き受けてくださっていて、負担が大きいのではないかと感じています。「支え合うまちづくり」を目指すのは理想的なことですが、一部の人達のみに負担のかかる町内活動の在り方そのものを見直すところからやっていただきたいです。例えば、小さな町（人の少ない町）は町内活動を合併するなどしてほしいです。みんなが納得いく形で町内会の活動ができればいいなと思っています。（80 歳代以上女性）
17	地域で支え合うまちづくりと行政が言っているだけに思います。現場に出て見てわかる事がまだ沢山あるのでは？机上論だけでなく、まずは色々と実施しながら考えていけば良いのではと考えます。難しいと思いますが。（60 歳代男性）
18	現在 70 歳で一人暮らしですが仕事をしている関係上、地域活動やボランティア活動にも参加できる時間がありません。しかし職業上、自分にできる社会貢献、仲間とならできる地域活動に参加していますが、少しずつ活動の輪が広がっています。自分にできる些細な小さな事にも、人の為に何か役立っているという喜びを感じます。まだまだ周りにはその力を持っている人がいると思うので、呼びかける人（リーダー）の育成も大切だなと感じます。また、支え合う町づくりを作っていくと同時に「やさしい町づくり、子育てしやすい町づくり、暮らしやすい町づくり」に、もっと力を入れる必要があると思います。市民の意識を上げることも大切ですが、市政の積極的な施策を発信してほしい。（70 歳代女性）
19	各市町村で情報提供はとても頑張っておられると思います。ただ、それを受ける側に問題があり、興味がなかったり、受信するものがなかったりということがあると考えます。特に高齢者は情報を拾うアンテナを張っていない方も多くいます。そういった方への周知が難しい問題だと思います。また、私も地域活動にはあまり関心がありませんでしたが、子どもができてから少しずつ興味がわいてきています。そのため、各人のその時にあったコミュニケーションの中で支え合いがあれば良いのではと思います。なかなか独身で一人暮らしの人と高齢者を結びつけるのは難しく続きません。その人に合ったライフステージの人とつながっていけるしくみがあると良いのかなと思います。（30 歳代女性）

20	福祉活動について、地域で支え合う意義は充分に理解できるが、組織づくりや活動を活発にすればするほど担い手がいない。世話をする人は、どの組織も同じメンバーになり負担が多すぎる。結局、腰折れになってしまう。だからあんまりあれもこれもとやりすぎないように、本当に必要としているもののみ活動を行うこと。活動のための活動にならないこと、理想を追い求めないこと。それが一番現実的だと思う。（70 歳代男性）
21	地域での福祉ボランティアとか老人会にしろ、年老いた 80 代以上の人達ばかりで、若い 70 代の人達が入ってこない。入ってほしい。（80 歳代以上女性）
孤立させないまちづくりが必要	
22	支え合いも必要ですが、６０代以上の方の「年寄りだから若い人にしてもらわんといかん」みたいな依存心の強さがすごく気になります。各々が自立して生活する中で、本当に必要な支え合いが生まれてくるのではないでしょうか。若い人への負担が大きくならないよう、高齢でも体力のある方々が、精神的に自立されている地域になってもらいたいです。（40 歳代女性）
23	自分が若い頃はご近所のお世話もいろいろしてきましたが、今は目が見えなくなり、高齢でもあるので皆さん（特に家族）から支えられて生活しています。友人、知人が時々訪ねてきて声をかけてくれたり、家族と昔の話をするのが楽しみです。常日頃のご近所付き合いがないといざという時に助けを求めることも、してあげることも難しいと思うので、各自が心がけて関わり合うような社会になってほしいと思っています。（80 歳代以上男性）
24	人がいざアパートを借りたり、仕事の保証人を立てたりする時など、身寄りのない一人暮らしの人が困っている方がたくさんいます。これらの人を助ける為、また力になる為には地域でどのようにして取り組んでいけばいいのでしょうか？支え合うまちづくりで、一度考える必要性もあるのではないでしょうか？（70 歳代女性）
25	町内会には入っているが、町内会による支えや見守りはない。疎外された感じがする。（80 歳代以上男性）
26	超高齢化社会をむかえつつある今、特に人吉は若い人が少ないし、実際、自分の子どもも県外におり、自分で何もできなくなった時のことを考えると、とても不安です。広報などで情報をいろいろ教えてもらったり、いろいろ知りたいです。結局は近所の人や知人等に助けてもらわなければいけないので、つながりをつくる仕組みを作ってほしいです。（60 歳代女性）
27	自分が手助けを必要と思っても、やはり身内に見てもらいたいと思う気持ちが働きます。ですが、近辺の方で、困られてる方がおられた時は、周りの人たちと協力していきたいと思います。（50 歳代女性）
28	福祉という言葉が大きく思え、活動に興味があっても躊躇してしまう人もいると思います。何かこうわかりやすかったら…。地域との関わり…積極的に関わる事のできる社交的な方は良いのですが、困っている人や地域の為に何か協力はしたいけれど他者と関わるのが苦手な人（人見知りの方）やあと一歩が踏み出せずに躊躇している方もいらっしゃると思います。そういう方々もできるような何かがあったら…。（40 歳代女性）
29	支え合う事が、相手の方が本当に望まれているのか？！他人ではなく身内の方に頼み事もしたいだろうし、こちらからの手助け？というのは難しいと思います。SOS が出ていれば別ですが…。（40 歳代女性）
30	私の隣保班では比較的、声をかけ合いつながりは良いと思いますが、気になる事があり声をかけると変に警戒されたりするようです。声かけにも難しいような気がします。（60 歳代女性）

31	障害のある家庭の支援や相談をしやすい環境が必要。（80 歳代以上女性）
32	私の町内でも一人暮らしの世帯が増えています。地域の役割が非常に重要になってきています。個人の活動には限界があり、社会福祉協議会の活動に期待します。（60 歳代男性）
33	これから増える認知症の方々への支援を心よりお願い致します。（60 歳代女性）
34	市役所などのオープンスペースに、大人も子どもも子育て世代も、自由に立ち寄れるスペースがあり、社協などの専門スタッフや高校生や中学生のボランティアの方など、常時２～３名のスタッフがいろんな相談や話し相手になれるような場所などはいかがでしょうか。子ども達には自由に読書ができる図書館をオープンスペースに作ることにより、たくさんの方と子育て世代も情報を共有できると思います。（50 歳代女性）
35	日頃の隣近所の声かけが一番大事だと思います。老人会の役員をしていますが、遠慮なく声をかけています。会員同士の間柄では「どけ行くとな？」「病院はどこな、どぎゃんあっとな」と声かけして答えてもらい、話が弾みます。腰痛持ちの私は、足腰に悩みのある人に対して、自分の悩みから先に気持ちを打ち明けて話し込んでいくと、身体の事以外の悩みも含めて話ができます。これも日頃の付き合いが大切だと思います。（80 歳代以上男性）
安全・安心なまちづくりが必要	
36	朝、スーパーに買い物に行くと高齢者がほとんどです。カートの支えがないと歩くことが困難であろうと思われる方も買い物に来られています。病院に行くと高齢者がほとんどで辛らそうに待っていらっしゃる方は１人や２人ではありません。昼間、車の運転をしていると高齢者の方が交通ルールを無視した運転をよく見かけ、身の危険を感じたことも１度や２度ではありません。定年退職後に感じたことを列記しました。今、地方自治体の本気の取組みが必要であると思います。私もできるところから実践していくつもりです。（60 歳代男性）
37	「地域で支え合うまちづくり」とは少し違うかもしれませんが、母子家庭にも緊急連絡装置のようなものがあればと思います。子どもと二人で私に何かあった時に子どもがすぐに通報できる年齢であればいいのですが、どうすればいいかわからなくなると思いまして。紙に書いて壁に貼ってはいるのですが、あれば安心だと思いました。（30 歳代女性）
38	広報に関する事のお願いです。人吉では、電柱につけてあるスピーカーでの放送がありますが、窓を閉めてると全然聞こえませんし、聞こえてもハウリング状態で何を言ってるかわかりません。せっかく広報されているのであれば、きちんと届く方法に変えていただきたいとずっと思っています。（車でのお知らせも聞き取れません。）携帯へのお知らせも自分の住んでいる所以外のお知らせが多すぎます。（60 歳代女性）
39	町内で体の不自由な方や高齢者を災害時に避難する時に、近隣の手助けをどうするかとか考えてしまいます。外出できないお年寄りの方の訪問を密にして孤独死などないようにしたいですよね。（50 歳代女性）
40	自分は日頃より不規則な就業体制で人吉市の活動にはあまり参加する機会も少ないのですが、高齢者の一人暮らしやシングルマザーなどの一人親世帯も結構いると思うので、人吉市の活動を通して子どもから大人まで一人一人がもっと住みやすい環境整備を進めていただきたいと思います。（30 歳代男性）

41	高齢世帯や精神障害等の方の一人暮らしや外国人等、言葉があまり話せず勉強中の方々などの交流支援を強化することで、災害時の支援やネットワークが図れる事へ少しでもつながると思う。（30 歳代女性）
42	共働きの私達にとって一番の悩みは、子どもが病気をした時に預けられる場所の少なさです。自分達の親も６０才過ぎても働く時代に、子どもを預けられる場所がなければ安心して働くこともできません。（30 歳代女性）
43	何度も書きましたが、色々計画してもマンパワー不足、資金不足では何もできません。子ども会の存続も危ぶまれ、婦人会はなくなり…。人がいないことには何もできません。若者が住み続けることができるようにするには、何よりまず働く場です。このままでは、近い将来人吉市が存続できなくなると思います。（40 歳代女性）
44	今車に乗っていますが、ケガ、病気になった時の交通機関がありません。（田野～西間上経由のバス）朝夕 1 回ずつでもいいから廻してほしい。タクシーは予約制で不便です。（80 歳代以上女性）
45	台風接近や大雨に伴う防災無線を聞いていて思ったこと。「避難所を開設しました」と夕方頃放送があったこともありましたが、高齢者や子育て中の人には遅いと思いました「〇〇時で避難所を閉設します」と実際は去ってもまだ時折強い風が吹いていた。高齢者と生活しているとわかるのですが、急ぐ行動ができない。避難所へ行こうと決断するまでに時間がかかる。避難所までが遠い。車がない人は荷物を持って徒歩で行くのだろうか？などが想像されます。一人暮らしが多くなっている現状、隣近所からの声掛け、自分からの手伝ってほしいの発信力も必要だと感じます。（60 歳代女性）
46	私も含めてですけど、これから一人暮らしの高齢者が増えてくるので、日常の生活に不安を感じなくてもいいような活動・支援をお願いしたいと思います。（60 歳代女性）
47	今の所、家族が何とか生活ができていますが、もっと高齢になり自分たちの事ができない時がくる事を考えて、不安になる事があります。福祉社会を有難く思います。（80 歳代以上女性）
その他	
48	現在の町内会長さん、骨身惜しまず一人暮らしの高齢者の道路端の草払いなどして、美化の為にもよく見守ってくださる事、私達にはできないので感謝しています。民生委員さんもよく見守りなどされて、今町内安心して暮らせています。（70 歳代女性）
49	子ども達が通学する際、横断歩道に立っていただいている見守りの方々に感謝しています。そのような方々を表彰してほしいです。（30 歳代女性）
50	新しくその町内に住もうとしている若い人達の横のつながりを大切にしたいと思っています。（70 歳代女性）
51	民生委員・児童委員の方々は大変だと思います。我が家の年寄りを民生委員の方が訪問してくださり心強く助かっております。また、色々と相談に応じていただいており感謝しております。今後も大変だと思いますが、よろしくお願いします。という気持ちです。（60 歳代男性）
52	今の時代、色々な考え方や価値観があります。まずは多くの市民の声を聞くべきだと思います。そういった意味では、このアンケートも良い事と思います。（40 歳代男性）

53	人吉に生まれ、友達もたくさんいます。友達も老いた近所の一人住まいの人を助けています。自分達が老いても元気でいれば明日が見えます。一人になり団地にお世話になりました。生活の難しいことがわかりました。バスを利用させていただいています。感謝します。手を差しのべる難しさもあります。昔みたいに近所付き合いをしたいです。（70 歳代女性）
54	大阪から熊本県に居住して３年程になります。近所の方々も優しくしてくださってとても住みよい人吉市だと思います。ただ外出（夜）する時は、とても暗くて最初は外に出るのも嫌でした。夜出かける時はタクシーで玄関前まで、外路灯が道路になく立っていてもわからないほどです。特に若い女性、子どもさんなどは大変だと思います。予算の事など大変だと思いますが、外路灯が少しでもできることを望んでいます。特に冬などお年寄りの見守りをするには勇気がいります。また、一人暮らしの人の意見ですが、毎日近所の人が訪ねて来てお話をされるそうです。話が長くてとても嫌だと居留守を使うそうです。そしたら病気か？なんだ？とわずらわしいそうです。元気な印として黄色いハンカチでも玄関に出しておくといいわねぇとのお年寄りの会話でした。ぜひ、人吉市でそんなハンカチを作っていただけたらと思いました。（70 歳代女性）
55	町内の方も高齢者が多く世代の交代など、祖父母が亡くなり私が来た頃（S48 年頃）からごく最近まで、家同士の行き来も良かったと思います。最近は留守も多く、防犯などであまり出入りは控え電話での連絡とかになり、家間のようすとか分かりにくくなっています。公民館の交替の掃除（年 1～2 回）とかでの交流はワイワイでやってます。（60 歳代女性）
56	人それぞれで様々な考え方があるかと思います。物事を形付けるよりは、柔軟性が大事では!?いろんな方々が沢山おられます。そんな中、わずかな方でも前向きな心で暮らせたなら幸いです。（60 歳代女性）
57	若者が定着する町、魅力のある町、若さはカ。（20 歳代男性）
58	この地域に来て３年未満ですが、町内に来てすぐ敬老会の会合で思いがけない人々の仲間に入り、地域の事が少しわかってきました。来年は班長当番なので、いろんな事が一段とまたわかることと思います。何事も自分から進んでいかないと、とり残されそうな？気がしますので…。そのつもりで生活していきたいと願っています。（70 歳代女性）
59	『福祉』みんなで幸せに生きる。という意味の事が書いてある。日常では福祉施設とか福祉大相撲とか福祉課とか。衣食足りて平和な日本のはずなのに一部で同居の肉親を殺すという事件。背筋が凍る。相手を想う心、愛しいと想う心、自分はこれでいいのか？と問う心はなくなったのでしょうか。予算＝お金だけでは…。ご近所のご家族がお父さん、お母さん、子ども三人と手を繋いで地域の夏祭りに行かれる姿を見ると心が和みほっとする。まずは大人が道を通る散歩の方々に「おはようございます」と挨拶する。現代は物言わぬ社会。学生から大人まで満員電車の中でもスマホばかり、だから話すのが苦手。買い物も交通機関も、スマホ一つで済む世の中。高齢者は住みにくく、大都会と地方都市の差は広がるばかり。『福祉』とは、と言われても私は正直わかりません。福祉分野の裾野は限りなく広いと思いました。（80 歳代以上女性）

■地域福祉に関するアンケート調査（専門職）自由記述欄

※自由記述の回答を抜粋し、課題別に掲載しています。

問５．最近特に多くなった相談や、制度上のサービスでは解決できずに困っている問題・事例がありますか。	
キーパーソンの問題	
1	家族規模の縮小や家族機能の低下が進み、家族または保証人になる人がおらず、入院や手術の同意が得られない患者と関わるケースが増加している。
2	キーパーソンがいないことで、ちょっとしたことでもサービスが必要になる。また、地域で関わっていなかったことで、近隣の支援も受けづらい。
金銭面の問題	
3	年金額が少なく金銭的に余裕がないことが多い。子どもさんは自分の子どもにはお金を出すが、親のためには出さない。
4	国民年金受給者は、受取り金額が少ないため、入所施設へ入れたいが、入れるのができず困っている。
5	独居で介護する方がいないが、制度だけでは対応できず（介護度も軽く出てしまい）自費や有料のサービスを使いたいが、お金も足りていない。
施設入所の相談	
6	施設入所の相談が多くなっているが、入所の空きがなく、困っている。
7	入居できる施設を探しているが、なかなか見つからずに困っている。
8	家族（特に介護者）の急病等で、急遽サービスを調整される事例があるが、その際、適切なサービス（維持したもの）が調整できず…という居宅ケアマネージャーからの相談。
ゴミ出しの問題	
9	独居世帯の方のゴミ出し問題⇒ゴミの分別が難しい。ゴミを出す時間帯が限られている。重くて１人で持っていくことができない。
災害時の問題	
10	台風や大雨時避難させる必要がある利用者が複数いるため、地域で対応するシステムの必要性を感じる。ケアマネージャー一人では限界を感じる。
11	災害時に避難できるのか不安⇒視覚障害、身体障害の方に対しての避難手段がない（少ない）。精神、知的障害の方が避難の声かけに対して理解難しい場合あり。
福祉サービス事業所の問題	
12	土日祝日は、地域包括支援センターが休みで、担当の人に連絡がつかないことがあるため困った。
13	専門性、運営、職員配置、関わり方、性、etc。
障がいのある人の相談	
14	障がい児（療育が必要な児童）や、一般就職の相談。
介護の不安	
15	高齢者の二人暮らしで介護者から「自分も年々、体力が落ちてくる。家で看れなくなった後はどうすればいいのか。」と介護への不安。

交通手段の問題	
16	社会福祉協議会で行っているデイサロン、朝デイ、等、参加したいと思っている高齢の方でも一人暮らしだったり、日中独居だったり、公民館に歩いて行ける方は良いが、身体に支障があったり、軽度の認知症のある方の交通手段がない（支援してくれる人がいない）為参加できない。
17	サロンや老人会の集い等、送迎はしてもらえませんか？送迎がないと、参加できない人はどうすればいいですか？
就学・就労の問題	
18	不登校の低年齢とケースの増加。高校の退学の増。未就職者の増。
19	一般就労している当事者同士での悩み相談などを気軽にできる場や機会がない。
問６．５年後、10 年後の人吉市の福祉の未来像について、今地域で準備しておくことは何でしょうか？	
福祉について学ぶ、話す機会が必要	
1	地域住民の方々に福祉の現在の状況や将来考えられることを周知し、どうしなければならないということの情報提供を行い、意識していただくこと。
2	自分自身が社会（地域）に関わらなければいけない。将来の自分達の生活を支えあうという意識付け。
3	児童たちへの福祉教育。（早いうちから）
4	福祉関係だけではなく、企業、市民など、みんなで人吉市の福祉の未来像について対話を重ねていくことだと思います。そのような機会を積極的につくっていくべきだと考えております。
交流できる・活躍できる場所づくり	
5	地域住民間の交流、顔見知りになる。
6	高齢者、児童の日常的に交流する場をつくる。
7	障がい者が働ける企業の誘致。
8	障がい者や引きこもりの人たちにもできる仕事を作る。家の中や特定の施設等、町の中や施設などに防犯防止や監視カメラの設置を行って、障がい者・引きこもりの人にでも監視できる仕組みを作る。犯罪防止や認知症の人が徘徊しても安心して暮らせる地域づくりを行える等考えられる。
9	元気な高齢者が、もっと活動、活躍できる場所づくり。
人材育成	
10	仕事をする職員も高齢化してきている。
11	高齢者でも地域で元気な方も多いと思われるので、協力していただける体制づくりは必要だと思う。
12	若者のＵターン※1、Ｉターン※2を増やす。魅力あふれる人吉にし、若者が安心して親の介護ができるようにする。

※１）ユーターン：地方から都市に移住した人が、再び故郷に戻ること
※２）アイターン：都市部から出身地とは違う地方に移住すること

13	福祉関連、特に介護現場で働くスタッフの不足が課題となっている。施設や介護事業所単位でのこの問題に対応することは不可能な状態となっている。施設や事業所を含めた地域単位での取り組みが必要と思います。将来、安心のできる生活を続けられるように住んでいる地域の福祉活動に興味、関心を持ち、地域の皆さんと取り組む姿勢を持てればと思います。
14	介護者家族の救済・相談相手の有無、負担の有無、虐待が潜んでないか、隠れた部分をケアマネ一人で担っていくのは到底無理なことです。このままではケアマネがつぶれてしまいます。現在、ケアマネの後継者も不足しているところなので、地域の力にも大いに期待したいところです。よろしくお願いします。
高齢者の移動支援など	
15	高齢者の外出時の交通手段提供・確保。
16	交通の便が悪いので、移動手段を増やす。
17	難聴者へのドアチャイム、電話貸与。
施設や福祉サービスの充実	
18	在宅でのサービスの充実は今後も必要だと思いますが、施設も足りていないと思います。
19	町の中にＩＴ・ＡＩを使った高齢者が住みやすい環境を整備することで、看護・介護や衣食住に時間を取られることなく生活ができる。
20	具体的には、空き店舗を住宅化することで人が集まり商店街の活性化を生み、大家は固定資産税が払える。ライフラインの整備にも費用が少なくできる。医療・介護も短距離で数がこなせ、24時間の医療・介護がしやすくなる。
21	入院、入所が限られているので、当然在宅での生活が延長してくると思います。在宅で不安、負担に思うのは、やはり介護、療養のことだと思います。そのサービスを受けるのもお金が必要なので、助成対象から外れてしまったけれども通常料金となる低所得の人への支援を考えてほしいです。
22	低所得者にも必要なサービスを十分に受けながら在宅での生活を継続できるような仕組みを構築してほしいと思います。
23	フォーマルサービスとインフォーマルサービスの連携
体制づくり	
24	独居や高齢者のみ世帯への早めの介入。（元気なうちから）
25	年々、障がい児と診断されるケースが増えているが、地域でどう見守りできるのか、支援のあり方があるのかなど、検討していく必要がある。
26	認知症の方ができるだけ長く自宅で暮らせるようなつながり作り（認知症になったら終わりではなく。）
27	ケアマネと地域（町内会長、民生委員児童委員等）と行政が一体として協力体制がとれる必要がある。まずは交流会を設け、顔なじみになり、相談しやすい環境作りが必要。
28	在宅で要介護の方でも安心して住めるように在宅での医療の充実、訪問看護などを増やしていく。ただ、実際要介護になった方との同居を嫌がる人がほとんどだと思うので、まずはその理解をひろめ、在宅でも安心して家族も仕事に行ける体制が必要だと思う。また、家族も休みが欲しいので、在宅でも、家族には全くと言っていいほど迷惑をかけないような体制も必要だと思う。

問７．その他、意見等があればご自由にご記入ください。	
1	地域においての住民同士の交流や世代を超えた交流の機会が少なくなっていることについて…。以前は、子ども会が中心になってできていたことも、子どもの数の減少で大きく変わっているように感じます。上の子どもの時には班がたくさんあり、役員が 20 人弱いましたが、下の子どもの時（4 年後）には、12 人（役員数）になっており、行事の数は変わらないので、とても負担に感じました。（小さな町内はなおさらだと思います）伝統行事への参加、老人会の皆様との交流、市民体育祭やゲートボール大会への参加など、役員の時だけ関わったような感じで、子どもが卒業してしまえば、そういう機会も減りました。自ら出かけて参加したくなるようなイベントや、交流の機会があれば良いと思います。
2	一人ひとりは助け合いの気持ちを持っていても「自分は良かれと思ってした事でも気を悪くされるかな」「これはおせっかいかな」「ここまでプライベートに入りこむのはどうかな」という遠慮があって、手を出せないということがあると思います。 日頃交流がないと、災害時などには大変なことになるだろうなと思いながら水害のニュースを見ています。お互いに助け合う、声をかけあうのが当たり前という、昔のような状態になるには、たくさんの壁があると思います。
3	元々、私自身が市民ではないため、この様な取り組みをされていることを知りませんでした。制度以外のサービスがあるのであれば、市の福祉課担当者が把握され、情報提供をして頂きたいです。又、町内会、見守り相談員、民生委員児童委員、シルバーヘルパーとの連携を図るための第１歩として相談支援事業所連絡会を利用し、交流（意見交換）会の場を設ける、又は逆にそちらの会に相談支援専門員がお邪魔するといった場作りからはじめるのはどうでしょうか。お互いに存在を知らないのが現状と思います。
4	運転免許を返納した高齢者の移動手段が少なく、タクシーなど使うと出費となり、公的サービスとして検討していただきたい。
5	災害時など、要支援者の対応について、具体的に市民に周知してほしい。
6	高齢者の課題だけでなく、障がい者に対しても安心して地域で生活できる人吉市を作っていただきたい。